



## 2021年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社パルマ

上場取引所 東

コード番号 3461 URL <https://www.palma.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 茂久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 清水 誠一

TEL 03-3234-0358

四半期報告書提出予定日 2021年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け 動画配信方式)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	1,489		23		18		9	
2020年9月期第2四半期								

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 9百万円 ( %) 2020年9月期第2四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	1.47	1.37
2020年9月期第2四半期		

(注) 2021年9月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年9月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	4,849	2,096	43.2
2020年9月期			

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 2,095百万円 2020年9月期 百万円

(注) 2021年9月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年9月期の数値については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		8.00	8.00
2021年9月期		0.00			
2021年9月期(予想)				9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,450		357		327		226		35.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年9月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

なお、連結業績予想につきましては、本日(2021年5月14日)公表いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期2Q	6,460,385 株	2020年9月期	6,214,000 株
期末自己株式数	2021年9月期2Q	275 株	2020年9月期	275 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期2Q	6,319,734 株	2020年9月期2Q	6,209,392 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

2021年2月にマンション・商業施設・セルフストレージ等さまざまなプロジェクトの設計監理・施工事業を展開する令和エンジニアリング株式会社を子会社化したことにより、当第2四半期連結会計期間より、連結決算を開始しております。

当第2四半期連結累計期間は、2021年1月7日に発出された「緊急事態宣言」下での事業活動となりましたが、セルフストレージ利用動向やセルフストレージ施設投資開発環境に影響は見られず、期初の計画・施策に沿って各事業を進めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,489,484千円となりました。損益面では、営業利益は23,872千円、経常利益は18,945千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,273千円となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来の単一セグメントから、「ビジネスソリューションサービス」と「ターンキーソリューションサービス」セグメントに、区分を変更しております。

当社は、令和エンジニアリング株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたため当第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

## 【旧セグメント】

	サービス内容
セルフストレージ ビジネスソリューションプロバイダ 事業	ビジネスソリューションサービス
	ITソリューションサービス
	ターンキーソリューションサービス



## 【新セグメント】

セグメント名	サービス内容
ビジネスソリューションサービス	ビジネスソリューションサービス
	ITソリューションサービス
ターンキーソリューションサービス	ターンキーソリューションサービス

## (ビジネスソリューションサービス)

当サービスはセルフストレージ事業者向けに賃料債務保証を付加したアウトソーシングサービスやセルフストレージ運営効率化のためのITシステム開発・運用を行っております。

当第2四半期連結累計期間においても、セルフストレージ利用者の増加基調を背景に、滞納保証付きアウトソーシングサービスやWEB予約決済・在庫管理システム「クラリス」の導入が堅調に推移し、当第2四半期末時点のサービス受託残高は92,245件（前年同期比8.1%増）と伸長しております。

以上の結果、売上高は482,798千円、営業利益は171,768千円となりました。

## (ターンキーソリューションサービス)

当サービスは、各種投資家やセルフストレージ事業者等の顧客向けセルフストレージ物件の開発・販売・賃貸運用を行っております。当四半期におきましては、東京圏エリアにてセルフストレージ施設開発事業量の拡大を推進し、「大田区南馬込」「世田谷区上用賀」など4物件の開発用地の新規仕入を進めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、「キーピットあざみ野」等の売却や、当社開発販売施設の安定運用化支援のためのマスターリース（一括借上げ・空室保証・運営管理）の取組積極化により、売上高は1,006,685千円、営業損失は45,982千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産の部

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,849,046千円となりました。主な内訳は、現金及び預金2,707,253千円、販売用不動産850,542千円、仕掛販売用不動産766,896千円、求償債権244,219千円であります。

## ②負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債は2,752,740千円となりました。主な内訳は、短期借入金538,000千円、1年内返済予定の長期借入金325,419千円、未払金234,078千円、前受収益120,106千円、長期借入金1,400,825千円であります。

## ③純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,096,305千円となりました。主な内訳は、資本金590,584千円、資本剰余金501,034千円、利益剰余金1,003,876千円であります。

## ④キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、2,677,249千円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、294,090千円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益18,945千円、たな卸資産の増加額205,591千円、法人税等の支払額94,360千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、40,613千円となりました。主な要因は、関係会社株式の取得による支出15,200千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入63,448千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、336,570千円となりました。主な要因は、短期借入れによる収入538,000千円、短期借入金の返済による支出751,300千円、長期借入れによる収入316,000千円、長期借入金の返済による支出415,347千円、配当金の支払額49,691千円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月12日発表の「令和エンジニアリング株式会社の第三者割当増資引受による株式の取得（子会社化）・連結決算移行に関するお知らせ」のとおり、令和エンジニアリング社は当社の連結子会社となりました。本件異動を受け、2021年3月31日をみなし取得日として、令和エンジニアリング社の6カ月分（2021年4月1日～9月30日）の業績見通しを算入するとともに、当社の連結業績予想を発表しております。

詳細につきましては、本日発表の「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、令和エンジニアリング社の業績につきましては、「ターンキーソリューションサービス」セグメントに含めて報告を開始いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	2,707,253
金銭の信託	1,350
売掛金	86,075
求償債権	244,219
販売用不動産	850,542
仕掛販売用不動産	766,896
その他	60,228
貸倒引当金	△124,124
流動資産合計	4,592,441
固定資産	
有形固定資産	53,802
無形固定資産	
のれん	19,547
その他	29,643
無形固定資産合計	49,190
投資その他の資産	153,611
固定資産合計	256,605
資産合計	4,849,046
<b>負債の部</b>	
流動負債	
短期借入金	538,000
1年内返済予定の長期借入金	325,419
未払金	234,078
未払法人税等	6,347
前受収益	120,106
その他	127,963
流動負債合計	1,351,915
固定負債	
長期借入金	1,400,825
固定負債合計	1,400,825
負債合計	2,752,740
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	590,584
資本剰余金	501,034
利益剰余金	1,003,876
自己株式	△132
株主資本合計	2,095,362
新株予約権	943
純資産合計	2,096,305
負債純資産合計	4,849,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	1,489,484
売上原価	1,045,615
売上総利益	443,869
販売費及び一般管理費	419,996
営業利益	23,872
営業外収益	
受取利息	17
債権売却益	1,525
助成金収入	5,747
その他	297
営業外収益合計	7,588
営業外費用	
支払利息	12,515
営業外費用合計	12,515
経常利益	18,945
税金等調整前四半期純利益	18,945
法人税、住民税及び事業税	1,406
法人税等調整額	8,264
法人税等合計	9,671
四半期純利益	9,273
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,273

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	9,273
四半期包括利益	9,273
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	9,273
非支配株主に係る四半期包括利益	-



## （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

当第2四半期連結累計期間 （自 2020年10月1日 至 2021年3月31日）	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	18,945
減価償却費	8,391
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△5,622
受取利息及び受取配当金	△17
支払利息	12,515
売上債権の増減額（△は増加）	△13,395
求償債権の増減額（△は増加）	△5,554
たな卸資産の増減額（△は増加）	△205,591
前受収益の増減額（△は減少）	6,410
その他	△3,468
小計	△187,389
利息及び配当金の受取額	17
利息の支払額	△12,358
法人税等の支払額	△94,360
営業活動によるキャッシュ・フロー	△294,090
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△6,265
無形固定資産の取得による支出	△2,440
関係会社株式の取得による支出	△15,200
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	63,448
敷金の差入による支出	△110
敷金の回収による収入	1,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	40,613
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の払戻による収入	10,000
短期借入れによる収入	538,000
短期借入金の返済による支出	△751,300
長期借入れによる収入	316,000
長期借入金の返済による支出	△415,347
株式の発行による収入	15,768
配当金の支払額	△49,691
財務活動によるキャッシュ・フロー	△336,570
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△590,047
現金及び現金同等物の期首残高	3,267,296
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,677,249

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 2020年10月1日 至 2021年3月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス ソリューション サービス	ターンキー ソリューション サービス			
売上高					
外部顧客への売上高	482,798	1,006,685	1,489,484	—	1,489,484
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	482,798	1,006,685	1,489,484	—	1,489,484
セグメント利益又は損失 (△)	171,768	△45,982	125,785	△101,912	23,872

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△101,912千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用となります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、経営管理区分の見直しに伴い、ビジネスモデルの特性や類似性・関連性に基づき、報告セグメントを従来の「セルフストレージサービスプロバイダー」の単一セグメントから、「ビジネスソリューションサービス」及び「ターンキーソリューションサービス」の2区分を報告セグメントとしております。

また、当社は、令和エンジニアリング株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたため、同社を「ターンキーソリューションサービス」の報告セグメントとして追加しております。

なお、当第2四半期連結累計期間においては、みなし取得日を2021年3月31日としており、貸借対照表のみを連結しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間より令和エンジニアリング株式会社を連結の範囲に含めております。

これにより、ターンキーソリューションサービスセグメントにおいて、のれんが増加しております。当該事象によるのれんの発生額は19,547千円であります。